

平成25年10月27日

今週のベストショット



青松園A 三苦三球会 対 奈多フェニックス戦

完封勝利と先制HRの今林勇太選手（左）と追加点の2ランを放った今林英二選手（右）

写真：三苦ホーネッツ 山崎健太郎

奈多グラウンド パイレーツ猛打爆発で圧勝！

ブルーマーリンズ（1勝10敗0分）0000 0 網脇●、末松ー中村

新町パイレーツ（6勝4敗1分）3914X 28 八坂○ー桐島

HR：牟田、大濱、田村（新町パ）3BH：牟田、桐島（新町パ）2BH：桐島、山野井（新町パ）

盗塁：升井、牟田、阿部、白岩将、大濱、（新町パ）

先週、ホーネッツに快勝し勢いに乗る新町パイレーツ。この日の先発・八坂投手は初回、ブルーマーリンズ二番中村選手にライト前ヒットを許すも、後続を難なく抑え上々の滑り出し。するとその裏打線はレフト前ヒットの桐島選手を三塁に置き三番牟田選手の左中間ホームランで2点先制。さらに1点を加え3-0とする。その後、パイレーツは攻撃の手を緩めず、二回には打者14人で9点、三回には打者17人で14点と三回までに28点を挙げる。4回表ブルーマーリンズが無得点に終わった時点で試合終了。パイレーツの圧勝となった。中でも、桐島選手が5打数5安打、大濱選手も4打数4安打、牟田選手は先制のホームランを含む6打点など、延べ23安打の猛攻に加え、八坂投手もブルーマーリンズ打線を2安打に抑え完封するなどパイレーツ選手の勢いが感じられた。点差が開いたせいか、ブルーマーリンズの元気のなさが気になった。

（記事、写真：ソルトベイスターズ田中裕次郎）



パイレーツ打線に力投するBマーリンズ網脇投手。



一回裏バントに対応するBマーリンズ末松三塁手。



一回裏先制の2ランHRを放つパイレーツ三番牟田選手。



ホームインするパイレーツ牟田選手。



Bマーリンズ打線を完封したパイレーツ八坂投手。



フライを好捕するパイレーツ山野井左翼手。



三回裏、大濱選手のHRで大いに沸くパイレーツベンチ。



監督の笑顔も誘うホームランのパイレーツ田村選手。



何とか反撃をと円陣を組むBマーリンズ。



Bマーリンズに立ち塞がるパイレーツ八坂投手。

青松園B 猛爆ウインズ打線が三友クラブを圧倒、粉碎！

三友クラブ (3勝8敗1分) 00010 1 足達●一駄原

新町ウインズ (6勝4敗1分) 35111× 11 藤田○一今林

HR: 松尾 (三友ク)、野中、藤田 (新町ウ)、2BH: 今林2、藤田2 (新町ウ) 盗塁: 安藤 (一) (新町ウ)

ウインズ藤田投手は立ち上がりから抜群の球威を披露し、三者凡退 (2三振) のすばらしい立ち上がりを見せる。一方、三友クラブの足達投手も先頭打者を打ち取るが、続く二番泉選手が振り逃げで出塁すると、四球と2本の二塁打を浴び、初回いきなり3点を奪われてしまう。勢いに乗るウインズ打線は続く二回にも五番野中選手の豪快な本塁打を含む打者一巡の猛攻で5点を追加すると、三回には振り逃げ、バント安打、盗塁、犠牲フライと小技を駆使して更に得点を重ねる。三友クラブも四番松尾選手の本塁打で1点を返すものの、藤田投手の速球の前に五回までに9三振を喫し、反撃の糸口を見出すことが出来ない。最後は五回に11点目をあげたウインズが投打に圧倒してコールド勝ちを収めた。(記事: 塩浜ジャガーズ高嶺信彦、写真: 松下照夫)



投打に活躍したウインズ藤田投手。



バント安打のウインズ一安藤選手。



二回裏、豪快な本塁打を放ったウインズ六番野中選手。



三友クラブ駄原捕手とウインズ藤田選手の本塁クロスプレー。

雁レクD レッドサンデーズ、エラーから大量失点！

レッドサンデーズ（3勝6敗1分）30100 4 土師●、田中一前田

三苦フレンズ（3勝9敗0分）35302X 14 山口○ー生野（拓）

HR：八島（レッド）場先（三苦フ）3BH：前田（レッド）寺山、生野（拓）（三苦フ）

初回レッドサンデーズは、フレンズ先発山口投手の立ち上がりを上手く攻め、いきなり無死一二塁のチャンスをつかみ三番八島選手のサードライン上を抜けるHRで3点を先制。しかしその裏、フレンズも先頭打者生野（拓）選手のヒットとライトのエラーで無死三塁のチャンス、続く二番場先選手のショートフライをレッド壱岐選手が痛恨の落球。このエラーを皮切りに立て続けにエラーが続き3-3の同点とされてしまう。レッドは二・三回裏も、連鎖反応が収まらず大量得点をしてしまう。一方、フレンズ山口投手は尻上がりに調子を上げていき、レッドは、三回表に前田選手の右越え三塁打から八島選手のタイムリーで1点を返すのが精一杯。三回途中で何とか田中投手に継投し流れを断ち切りたい所ではあったが、毎回の二桁エラーがでては流れを止めるまでには至らなかった。（記事、写真：奈多クラブ 吉田貴史）



連勝を狙うフレンズ山口投手。



レッド先発土師投手。味方守備に足を引っ張られた。



一回表、レッド三番八島選手の三塁線を抜く先制3ラン。



3打数3安打1四球のフレンズ一番生野拓磨選手。



レッド田浦選手のピッチャー返しを捌く山口投手。



三回裏、エラーの後を何とかカバーし得点を阻止。



三回裏から登板のレッド田中投手。



鋭い打球も正面を突く。レッド四番田中選手。

青松園A 今林勇太選手の一振りで奈多フェニックス接戦を制する！

三苦三球会 (4勝7敗0分) 00000 0 吉留●-山崎
 奈多フェニックス (7勝2敗3分) 10200 3 今林(勇)○-実延(新)

HR: 今林勇、今林英(奈多フ) 盗塁: 実延彰(奈多フ) 塚太一(三球会)

一回表の三球会の攻撃は、一死からフォアボールで出たランナーをPBで二塁まで進め先制のチャンスを作るが、ここは今林勇太投手が踏ん張り0点に抑える。その裏フェニックスの攻撃では、フェニックスの強力な一・二番を三球会吉留投手があっさり抑え、簡単にこの回が終わると思われたが、三番今林勇太選手の一振りが左中間を真っ二つに割る先制のホームランとなる。二回は両チーム共ランナーを出すものの得点には結びつかない。三回裏二死からフェニックス四番実延彰洋選手がヒットで出塁し、すかさず盗塁を決めチャンスを作ると、5番今林英二選手が左翼への2ランを放ち、3点差となる。その後、両投手の好投で息詰まる投手戦となるが、お互いあと1本が出ずこのまま3-0でフェニックスの勝利となった。フェニックスの今林勇太投手は、最終回二死から三球会三番大津選手にヒットを打たれノーヒットノーランを逃すも三球会打線をわずか1安打に抑え完封する圧巻の投球に対し、敗れた三球会吉留投手も強力なフェニックス打線を5安打に抑える好投。毎回得点圏にランナーを進めるが、あと一本が出ない三球会とは対照的にホームラン2本で得点を入れたフェニックス。この試合は一球の怖さを知る試合であった。(記事、写真: 三苦ホーネッツ 山崎健太郎)



三球会打線を1安打完封した今林勇太投手。



敗れたものの粘りの投球を見せた三球会吉留投手。



一回表、HRを放ったフェニックス三番今林勇太選手。



喜びのVサイン今林勇太選手。



難しいサードファールフライを好捕する堺孝彰選手。



サードゴロをさばくフェニックス西藤選手。



2ランを放った今林英二選手を迎えるフェニックスベンチ。



貴重な勝ち越し2ランの五番今林英二選手。



ピンチに打ち合わせをする三球会バッテリー。



見守る三球会ベンチ。



負傷したが最後までマスクを被った実延新伍選手。



最終回二死から意地のセンター前ヒットを放った大津選手。



試合後にお互いの健闘を称え合う今林勇太投手と吉留投手。



投打のヒーロー今林勇太投手と今林英二選手！

第22週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第22週、10月27日は4試合が行われました。

奈多グラウンドのブルーマーリンズ対新町パイレーツ戦は、右肩上がりに得点を重ねるパイレーツ打線の勢いが止まらず、0-28のスコアでパイレーツ勝利。この試合、一番桐島選手はHR、三番牟田選手は二塁打が出ていればサイクル安打でしたが惜しかったですね。やっぱりサイクルヒットって難しいです。最低でも4回打席に立つ必要がありますからね。パイレーツは一、二番打者が5回打席に立ったのに対し、Bマーリンズの八、九番打者は1回しか打席が回って来ませんでした。

青松園Bの三友クラブ対新町ウインズ戦は、ウインズ藤田投手が軽快なピッチングと3打数3安打1HRを放つなどの活躍を見せ、周りの選手も一緒に11安打で1-11の勝利。三友クラブは、四番松尾選手が全安打の2安打1HRを放つなどひとり気を吐きました。

雁レクDのレッドサンデーズ対三苦フレンズ戦は、先週大勝して勢いに乗るフレンズに対して、その試合の審判をしたレッドがどう戦うかでした。レッドは初回無死一二塁でこの日三番に入った八島選手が幸先よく3ランを放ち先制するが、貯めた貯金をすぐ吐き出すのがレッド。その裏エラーが続出し、フレンズが難なく追いつくと、12安打を放ち4-14の逆転勝利。フレンズ一番生野選手は小柄だが俊足とシュアなバッティングで3打数3安打の活躍。フレンズは山口投手の球種が増えて、守備力が上がったなら、来年は上位に食い込むかもしれない。それだけのポテンシャルを十分に秘めていし、やれるという思いがチームに浸透すれば、決して下位に低迷する

チームではないでしょう。勝利にこだわって、ガツガツやってほしいですね。

青松園Aの三苦三球会对奈多フェニックス戦は、フェニックス先発今林勇太投手が先制HRを放ち、投げては8奪三振を奪い1安打完封勝利。しかもその一安打が最終回二死からというのがご愛嬌でしょうか。フェニックスはクリーンナップが4安打2HR3四球といい仕事をして0-3で勝ちました。三球会は戻ってきた吉留投手をしても連敗は止められませんでした。

プロ野球も巨人对楽天の日本シリーズが大詰めを迎えました。ついに全勝の楽天・田中将大投手に初めて土が付き、3勝3敗で明日第7戦を迎えます。

ここまで来たら総力戦ですね。全員フルスクランブルです。もしかしたら第6戦で160球を投げた田中投手が最後に投げるかもしれませんね。

そう考えたら、リーグ戦とは言え、年間13試合で月2~3試合ペースの我らWSLも毎試合が総力戦です。

しっかり準備して試合に備えましょう。急に出番は回ってくるものですよ。